

第2回学びが喜び・ESD 連続公開講座

大西 浩明

- ◇日時 2022年7月5日(火) 19時～20時30分
- ◇方法 対面式とビデオ会議システム Zoom を使ったオンライン形式を併用したハイブリッド
- ◇会場 ESD・SDGs センター多目的ホール
- ◇参加者 対面 19名、オンライン 22名 計 41名

「チャンスを活かす Teacher's Life ～ESD との出会いとこれから～」

愛媛大学教育学部 准教授 藤原 一弘氏

勉強会や研修会を起ち上げる 「愛大・ESD ラボ」

【愛媛県で勤めている奈良教育大学卒業生の言葉】

奈良教での学び、学びが今に役立っている点を聞いてみた
ユネスコクラブでの経験

「ESD を学んだことは私の生き方に影響を与えている」
「もっと学んでおけばよかった」と思うことがあります。



ライフヒストリー 曼荼羅

第1章 (学生時代～大阪教員時代)

生きることの大切さを実感 今、充実していますか? 生きる喜びを感じていますか?

阪神・淡路大震災を経験

本当は高校教員を目指していたが、結局小学校教員になった (愛媛も受験したが叶わなかった)
部活か何かをしたかった → 「やりたいから作ったれ!」 バレーボールクラブをつくった
手書きで学級通信 (こだわり)

自分の中で風化させない 伝え続けることの大切さ → 震災の経験を道徳自作教材に

第2章 (松山小学校教員時代)

ESD と出会う

ドッジボールクラブをつくる 4年で全国大会出場
松山市の小中学校教育活性化で表彰される

人の格好してるけど...

下に国旗が・・・
モザンビーク?



これ、いったい何だと思えます?

モザンビークの「武器アート」

モザンビークにおける平和構築活動 「武器をアートに」

「銃を鋏へプロジェクト」 集めた銃をアートにする

総合的な学習の時間（6年）を変えたい！ 私がつまらないと思ってしまった

国際理解…留学生を呼んで日本文化を伝える その国のことを紹介してもら

こんな総合って・・・？

竹内よし子さん（えひめグローバルネットワーク）との出会い

たまたま電話に出たら・・・

「いっしょに国際理解の授業をしませんか？」

松山市立新玉小学校での実践「平和な世界のために私たちができることは？」

放置自転車などの地域の課題を収集

モザンビークの現状を知る 自転車をモザンビークへ！

街の課題と世界の課題をクロスさせる

募金集め、交流活動、支援活動（いらなくなった文房具なども）

→ 自分たちのやったことがどうなったのか、現地の様子を確認する

身近な課題と世界の課題がつながっていることを実感でき、相手の反応が返ってくる

変化・変容が可視化できるカリキュラム

すばらしい実践をして、「いいものは自然と残る」いう人もいるが・・・

自分のESD実践をブラッシュアップ・整理・深化するために大学院に進学

新玉小学校が、四国の小中学校では初のユネスコスクールに登録

フルブライトのアメリカ教員研修に参加

モザンビークへ行ってみる 子どもたちからの支援物資を預かって持っていった

武器アートはこのときもらったもの

新玉小学校では、今もモザンビークとの交流、学習が続いている

もちろん、そのまま継続しているのではなく、毎年活動を更新しながら

第3章（中学校教員・市教委時代）

鴨川中学校 キャラクター「かもも」誕生！ どうせならゆるキャラに

誰も持ちたがらない3年学年主任 卒業式のプレゼントは200人分のメッセージ

教育委員会では生徒主事担当に 毎月10日は「まつやま いじめ0の日」

電話に出るのがいやに

第4章（大学教員として）

退路を断つ 子どもと関われない 戻りたい、でも戻れない だから今がある

ESDを四国に！

（最後に）

- ・ 学び続ける、強い意志、こだわりを持つ
- ・ 何があってもおもしろがる ピンチはチャンス
- ・ ESDとの出会いを大切に 自分を成長させてくれる。教育実践の質が向上する。
つながりが大きな輪になり、うねりになる。